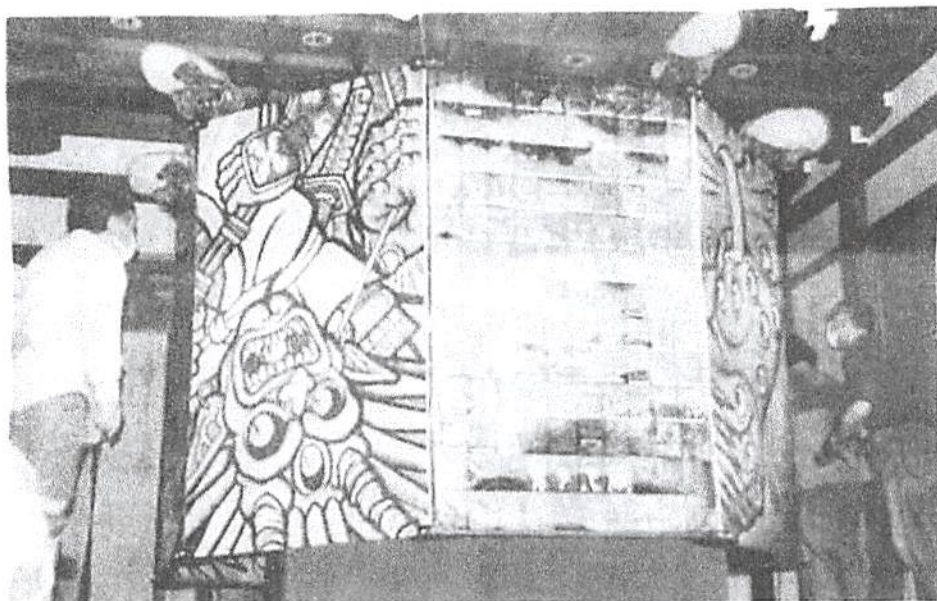


「思い思いの百目鬼描く」～八坂神社 飾り奉納～

※下野新聞 令和4年7月15日(金) 県央・宇都宮版に掲載されました。

思い思いの百目鬼描く



百目鬼伝説をテーマに作った大きな飾り物

宇都宮 八坂神社 陽北中が飾り奉納

【宇都宮】市の民話「百目鬼伝説」を題材に、陽北中の八坂神社に奉納された。の全生徒522人が作った 15、19日の同神社の夏祭りの

「天王祭」で境内に展示される。

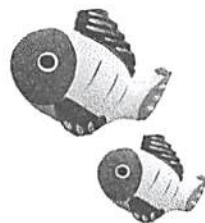
家内安全や無病息災の願いが込められた飾り物の制作は、2017年から同校の生徒が担当している。

高さ約1・9m、直径約2・2mで、風を当てると回転する。

藤原秀郷が百目鬼を弓で退治する様子を表した大きな絵や、生徒が百目鬼を想像しながら描いた小鬼をあしらった。夜にはライトアップする。

制作の指導に当たった同校の美術教諭甲賀健一郎さん(57)や同神社総代らが組み立て作業を行った。甲賀さんは「完成品を見て子どもたちも喜んでいた。集合体としての面白さもあると思う」と話した。

(曾根優衣奈)



はだか
愉快
陽北中
宇都宮